

## 提出書類の作成について

### I 参加表明書

- (1) 参加表明書（様式1-1） 提出部数 1部
  - ・共同企業体方式による参加の場合は、構成員連名で記入・押印のうえ、併せて設計業務特別共同企業体結成届（様式1-2）、設計業務特別共同企業体協定書（様式1-3）を添付すること。
  - ・一級建築士事務所登録の写しなど、参加資格が判断できる資料を添付すること。
  - ・法人税、消費税及び地方消費税、主たる事務所の所在地の都道府県税、大田市における市税等を滞納していないことの証明は、平成25年1月以降の証明を添付すること。
- (2) 事務所（企業）概要書（様式2（その1）） 提出部数 20部
  - ・事務所（企業）概要の確認できる資料（パンフレット等）を添付すること。
  - ・共同企業体方式による参加の場合は、構成員ごとに作成すること。
  - ・コンサルタント登録通知の写しを添付すること。
- (3) 専門分野別技術職員の状況（様式2（その2）） 提出部数 20部
  - ・共同企業体方式による参加の場合は、共同企業体における技術職員の状況を記載すること。
  - ・当該業務の協力事務所に予定しているところの職員数は、人数の欄（ ）内書きで記載すること。
- (4) 事務所の業務実績（様式3（その1）） 提出部数 20部
  - ・平成15年4月1日以降に、病床数280床以上の病院に係わる新築の設計業務実績について記載すること。ただし、過去における設計共同企業体による設計業務実績は、その代表構成員であった場合のみ記載すること。
  - ・共同企業体方式による参加の場合は、代表構成員のみの設計業務実績を記載すること。
  - ・工事監理業務のみを受注した場合は記載対象としない。
  - ・設計業務実績が10件以上ある場合は、適宜追加の上、全てを記載すること。
  - ・契約書の写し等実績を確認できる書類を添付すること。
- (5) 事務所の主要業務実績（様式3（その2）） 提出部数 20部
  - ・事務所の業務実績（様式3（その1））に掲げた業務実績のうち、代表的なもの2件以内について、写真等を用い、その設計コンセプトを簡潔に記載すること。実績1件につき、様式1枚（A3横版片面）を使用すること。
- (6) 協力事務所の概要（様式4） 提出部数 20部
  - ・本業務を受注した場合に依頼する協力事務所の概要、分担業務分野について記載すること。
- (7) 選任誓約書（様式5） 提出部数 20部（1部正本とし、19部は写しで可）
  - ・本業務を受注した場合に配置する総括責任者、各担当主任技術者について記載すること。
  - ・資格証等の写し及び雇用関係が確認できる書類を添付すること。
- (8) 総括責任者及び主任技術者の実績（様式6（その1）～（その3）） 提出部数 20部
  - ・様式5に記載した総括責任者、各担当主任技術者について、平成15年4月1日以降に病院に係わる新築の設計業務実績について、病床数の大きいものから順に5件まで記載すること。

## II 技術提案書

(1) 技術提案書(様式8) 提出部数 20部(1部正本とし、19部は写しで可)

- ・共同企業体方式による参加の場合は、構成員連名で記入・押印のうえ、提出すること。

(2) 業務の実施方針等(様式9) 提出部数 20部

- ・「新大田市立病院建設基本構想」の第3章、第4章にある理念や診療機能などの病院運営の考え方を踏まえた上で、第6章の施設整備方針に基づいた提案及び①本委託業務を遂行するにあたっての設計上のコンセプトや配慮事項、②担当チームの特徴、③業務への取組体制、④その他業務の実施方針について記載すること。
- ・A3横版1枚以内に文章で片面により簡潔に記載すること。
- ・文字の大きさ、行間などに配慮し、読みやすいものとして作成すること。(様式10共通事項)
- ・文章を補完するための写真、イラスト、イメージ図の使用は可能だが、設計内容が具体的に表現されている設計図や模型、透視図等を使用しないこと。(様式10共通事項)

(3) テーマに対する技術提案(様式10) 提出部数 20部

- ・プロポーザル募集要項の9. 本業務に求める提案中、(1)～(6)に記載するテーマに対する施設設計の考え方について、A3横版3枚以内にまとめ、文章で片面によりテーマごとに簡潔に記載すること。
- ・文字の大きさ、行間などに配慮し、読みやすいものとして作成すること。
- ・文章を補完するための写真、イラスト、イメージ図の使用は可能だが、設計内容が具体的に表現されている設計図や模型、透視図等を使用しないこと。

(4) その他資料

- ・鳥瞰イメージ図、アイレベルイメージ図 提出部数 20部  
それぞれA3横版片面1枚に収まるよう作成すること。
- ・概略工程表 提出部数 20部  
A4横版片面1枚により作成すること。(様式自由)
- ・委託業務の参考見積書 提出部数 1部  
A4横版片面1枚により作成すること。(様式自由)

※提出する技術提案書は、様式8、様式9、様式10、鳥瞰イメージ図、アイレベルイメージ図、概略工程表の順として、通しページを余白下中央に付して、左上片側1箇所にはホッチキス止め(クリップ止めは認めない)とする。

## III その他

- ・サイズ指定をしていない様式はA4版で作成すること。

平成 年 月 日

## 参加表明書

大田市立病院 設置者  
大田市長 竹腰 創一 様

住 所  
名 称  
代表者  
事務所設立年月日

印

新大田市立病院建設事業設計プロポーザルに参加を希望しますので、下記書類を添付のうえ参加表明書を提出します。

なお、プロポーザル募集要項の「8. 参加資格 (1) 参加資格者」に定める全ての要件を満たしていることを誓約します。

### 記

- 1) 設計業務特別共同企業体結成届 (様式1-2)
- 2) 設計業務特別共同企業体協定書 (様式1-3)
- 3) 事務所 (企業) 概要書及び専門別分野技術職員の状況 (様式2 (その1) ~ (その2))
- 4) 事務所の業務実績及び事務所の主要業務実績 (様式3 (その1) ~ (その2))
- 5) 協力事務所の概要 (様式4)
- 6) 選任誓約書 (別紙様式5)
- 7) 総括責任者及び主任技術者の実績 (様式6 (その1) ~ (その3))

※プロポーザル募集要項の「8. 参加資格 (1) 参加資格者 3)」の大田市建設工事等入札参加資格者名簿の測量・建設コンサルタントに未登録の場合は、誓約文の次に「ただし、大田市建設工事等入札参加資格者名簿の測量・建設コンサルタントについては、登録申請中です。」を加えること。

設計業務特別共同企業体結成届

平成 年 月 日

大田市立病院 設置者  
大田市長 竹腰 創一 様

共同企業体の名称	〇〇設計業務特別共同企業体
構成員（代表者）	所在地 称号及び名称 代表者氏名 ⑩
構成員	所在地 称号及び名称 代表者氏名 ⑩
構成員	所在地 称号及び名称 代表者氏名 ⑩

このたび、下記業務を受託するため、特別共同企業体を結成しましたので、設計業務特別共同企業体協定書の写しを添えて届け出ます。なお、この届及び添付書類の全ての記載事項は、事実と相違ないことを誓約します。

記

- 1 業務名 新大田市立病院建設事業設計委託業務
- 2 業務内容
  - (1) 病院本体の設計（基本設計）業務
  - (2) 既存施設解体の設計（基本設計）業務
  - (3) 土木工事の設計（基本設計）業務
  - (4) 設計に必要な地質調査
  - (5) 上記に関連する業務（開発協議、開発行為に伴う必要資料の作成等）

## 設計業務特別共同企業体協定書

(目的)

第1条 当設計業務共同企業体は、次の事業を共同連帯して行うことを目的とする。

- 一 大田市・大田市立病院発注に係る新大田市立病院建設事業設計業務（以下、「設計業務」という。）の受託
- 二 前号に付帯する事業

(名称)

第2条 当特別共同企業体は、「建築設計業務特別共  
同企業体」と称する。（以下、「当企業体」という。）

(事業所の所在地)

第3条 当企業体は、事務所をに置く。

(成立の時期及び解散の時期)

第4条 当企業体は、平成 年 月 日に成立し、設計業務履行後3か月を経過するまでの間は、解散することができない。

- 2 当企業体は、設計業務を受託することが係る請負契約の相手方とならなかった場合は、設計業務に係る委託契約が締結されたときに解散する。

(構成員の住所及び名称)

第5条 当企業体の構成員は、次のとおりとする。

所在地  
称号又は名称

所在地  
称号又は名称

所在地  
称号又は名称

(代表者の名称)

第6条 当企業体は、を代表者とする。

(代表者の権限)

第7条 当企業体の代表者は、設計業務の履行に関し、当企業体を代表してその権限を行うことを名義上明らかにした上で、発注者及び監督官庁等と折衝する権限及び自己の名義をもって受託代金の請求、受領及び当企業体に属する財産を管理する権限を有するものとする。

(構成員の出資の割合)

第8条 各構成員の出資の割合は、次のとおりとする。ただし、当該設計業務について、発注者と契約内容

の変更増減があっても、構成員の出資割合は変わらないものとする。

出資の割合

称号又は名称	%
称号又は名称	%
称号又は名称	%

2 金銭以外のものによる出資については、時価を参酌のうえ、構成員が討議して評価するものとする。

(運営委員会)

第9条 当企業体は、構成員全員をもって運営委員会を設け、設計業務の履行に当たるものとする。

(構成員の責任)

第10条 各構成員は、設計業務の委託契約の履行に際し、連帯して責任を負うものとする。

(取引金融機関)

第11条 当企業体の取引金融機関は、\_\_\_\_\_銀行とし、共同企業体の名称を冠した代表者名義の別口預金口座によって取引するものとする。

(決算)

第12条 当企業体は、当該設計業務が完了したとき決算するものとする。

(利益の配当の割合)

第13条 決算の結果、利益を生じた場合には、第8条第1項に規定する割合により、構成員が利益金を配当するものとする。

(欠損金の負担の割合)

第14条 決算の結果、欠損金を生じた場合には、第8条第1項に規定する割合により、構成員が欠損金を負担するものとする。

(権利義務の譲渡の制限)

第15条 本協定に基づく権利義務は、他人に譲渡することはできない。

(業務途中における構成員の脱退に対する措置)

第16条 構成員は、発注者及び構成員全員の承諾がなければ、当企業体が設計業務を完了する日までは脱退することができない。

- 2 構成員のうち、業務途中において前項の規定により脱退したものがあつた場合には、残存構成員が共同連帯して設計業務を完了する。
- 3 第1項の規定により構成員のうち脱退したものがあつたときは、残存構成員の出資の割合は、脱退構成員が脱退前に有していたところの出資の割合を、残存構成員が有している出資の割合により分割し、これを第8条第1項に基づく割合に加えた割合とする。
- 4 脱退した構成員の出資金の返還は、決算の際行うものとする。ただし、決算の結果、欠損が生じた場合には、脱退した構成員の出資金から構成員が脱退しなかつた場合に負担すべき金額を控除した金額を返還するものとする。
- 5 決算の結果、利益を生じた場合において、脱退構成員には利益の配当は行わない。

(業務途中における構成員の破産または解散に対する措置)

第17条 構成員のうち、いずれかが業務途中において破産または解散した場合においては、前条第2項から第5項までを準用するものとする。

(解散後のかし担保責任)

第18条 当企業体が解散した後においても、当該業務につき、かしがあったときは、各構成員は共同連帯してその責任に任ずるものとする。

(協定書に定めのない事項)

第19条 この協定書に定めのない事項については、第9条の運営委員会において定めるものとする。

と と は、  
上記のとおり 設計業務特別共同企業体協定を締結したので、その証拠としてこの協定書 通を作成し、各通に構成員が記名押印し、各自所持するものとする。

平成 年 月 日

住 所  
名 称  
代表者氏名 ⑩

住 所  
名 称  
代表者氏名 ⑩

住 所  
名 称  
代表者氏名 ⑩

## 事務所（企業）概要書

1. 名 称	
2. 本店所在地	
3. 設立年月	
4. 代表者 職氏名	
5. 資本金	
6. 従業員数	
7. 連絡先	会社名： 担当者名： 電話： <b>FAX：</b> <b>Eメール：</b>

※事務所（企業）概要の確認できる資料（パンフレット等）を添付すること。

## 専門別分野技術職員の状況

事務所（企業）の名称				
資格名		職員数		合計
建	一級建築士	意匠	人	人
		構造	人（うち構造設計一級建築士 人）	
		設備	人（うち設備設計一級建築士 人）	
建築設備士				人
築	その他	意匠	人	人
		構造	人	
		設備	人	
用地	技術士又は同等の能力と経験を有する技術者			人
その他			人	
			人	
			人	
<p>※事務所（企業）に所属する有資格者の職員数を記載してください。</p> <p>※複数の分野を担当する職員については、最も専門とする分野に記入してください。</p> <p>※複数の資格を有する職員については、いずれか一つの資格の保有者として取り扱って下さい。</p> <p>※その他については、建築に関する有資格職員が在籍する場合、資格名と合計人数を記載して下さい。</p> <p>※当該業務の協力事務所に予定しているところの職員数は、人数の欄の（ ）うち書きで記載して下さい。</p>				

事務所の業務実績

業務名		発注者 (事業主)	受注 形態	完了 年度	構造・規模 面積・病床数等	受託業務
(二百八十床以上の病床を有する病院) 設計業務実績	1					基・実・監
	2					基・実・監
	3					基・実・監
	4					基・実・監
	5					基・実・監
	6					基・実・監
	7					基・実・監
	8					基・実・監
	9					基・実・監
	10					基・実・監

※平成15年4月1日以降における業務実績を記載する。

※当該業務委託契約書の写し等、発注者、受注者、契約金額、契約年月日及び履行期間が記載してある部分並びに病院の業務内容が確認できる部分の写しを添付すること。

※再委託を受けた業務の場合は、発注者の欄には契約相手方を記載し、括弧内に事業主名を記載する。

※受注形態の欄には、単独・JV・協力（協力事務所としての参画）の別を記載する。

※構造・規模・面積・病床数は、構造種別―地上階数/地下階数を上段に、面積―病床数は下段に記載する。

(例) 上段：SRC-8/1      下段：18,000㎡-380床

※基本設計・実施設計・施工監理の欄には、該当する部門に○をすること。

様式3 (その2)

事務所の主要業務実績（事務所の業務実績 様式3 (その1) に掲げた業務のうち2件以内を、写真等を張り付けその設計コンセプト等を簡潔に記載して下さい。）

業務名：

※外観の写真1点、ホール内写真1点、代表階平面図（縮尺任意）2点以内を貼り付けること。  
※A3版横1枚で作成すること。

## 協力事務所の概要と分担業務分野

<協力事務所の概要と分担業務分野>

1. 名 称	
2. 本店所在地	
3. 分担業務分野	
4. 協力を受ける理由及び具体的内容	

※事務所概要の確認できる資料（パンフレット等）を添付すること。

<協力事務所の概要と分担業務分野>

1. 名 称	
2. 本店所在地	
3. 分担業務分野	
4. 協力を受ける理由及び具体的内容	

※事務所概要の確認できる資料（パンフレット等）を添付すること。

<協力事務所の概要と分担業務分野>

1. 名 称	
2. 本店所在地	
3. 分担業務分野	
4. 協力を受ける理由及び具体的内容	

※事務所概要の確認できる資料（パンフレット等）を添付すること。

<協力事務所の概要と分担業務分野>

1. 名 称	
2. 本店所在地	
3. 分担業務分野	
4. 協力を受ける理由及び具体的内容	

※事務所概要の確認できる資料（パンフレット等）を添付すること。

## 選 任 誓 約 書

大田市立病院 設置者  
大田市長 竹腰 創一 様

平成 年 月 日

総括責任者及び各担当主任技術者を下記のとおり選任し、特段の事情がない限り変更しないことを誓約します。

### 記

#### 建築設計

総括責任者	:	(実務経験年数 年)
意匠担当主任技術者	:	(実務経験年数 年)
構造担当主任技術者	:	(実務経験年数 年)
電気設備担当主任技術者	:	(実務経験年数 年)
機械設備担当主任技術者	:	(実務経験年数 年)

#### 土木工事設計

土木工事担当主任技術者	:	(実務経験年数 年)
-------------	---	------------

会社名  
代表者名 ㊞  
(共同企業体の場合は、構成員連名のうえ、押印してください)

様式6 総括責任者及び主任技術者の実績（その1）

分担 氏名・年齢	実務経験年数 資格（登録番号）	業 務 実 績				
		施設名称	構造・規模・病床数	施設の完成年月日	立場	受賞年・賞の名称
総括責任者  氏名_____  年齢_____歳	経験年数_____年 資格 ・一級建築士 ( ) ・技術士 ( ) ・建築設備士 ( ) ・その他 ( )		m <sup>2</sup> 床	年 月		
			m <sup>2</sup> 床	年 月		
			m <sup>2</sup> 床	年 月		
			m <sup>2</sup> 床	年 月		
			m <sup>2</sup> 床	年 月		
	現に従事している主な設計または監理業務					
		業 務 名	構造・規模	完成予定年月日	立場	
			m <sup>2</sup>	年 月		
			m <sup>2</sup>	年 月		
			m <sup>2</sup>	年 月		
分担 氏名・年齢	実務経験年数 資格（登録番号）	業 務 実 績				
		施 設 名 称	構造・規模・病床数	施設の完成年月日	立場	受賞年・賞の名称
			m <sup>2</sup> 床	年 月		
			m <sup>2</sup> 床	年 月		
			m <sup>2</sup> 床	年 月		
	現に従事している主な設計または監理業務					
		業務名	構造・規模	完成予定年月日	立場	
			m <sup>2</sup>	年 月		
			m <sup>2</sup>	年 月		
			m <sup>2</sup>	年 月		

（備 考）1）業務実績は、病院の新築の設計業務の受託実績を記入してください。

2）立場とは、その業務における役割分担を言い、総括責任者（総括）、〇〇担当主任技術者（〇〇主任）、〇〇担当技術者（〇〇担当）の別を記入してください。

3）受賞実績の欄には、公共団体、建築学会、建築設計団体等の行う建築コンクール等の実績を記入してください。

4）主任技術者が設計共同企業体の場合は、氏名欄に所属事務所名も併せて記入してください。

5）構造は、構造種別・地上階数／地下階数を記述してください。（列：RC・5/1）

様式6 総括責任者及び主任技術者の実績（その2）

分担 氏名・年齢	実務経験年数 資格（登録番号）	業 務 実 績				
		施設名称	構造・規模・病床数	施設の完成年月日	立場	受賞年・賞の名称
構造担当主任技術者  氏名_____	経験年数_____年 資格 ・構造設計一級建築士 ( ) ・技術士 ( ) ・建築設備士 ( ) ・その他 ( )		m <sup>2</sup> 床	年 月		
			m <sup>2</sup> 床	年 月		
			m <sup>2</sup> 床	年 月		
			m <sup>2</sup> 床	年 月		
		現に従事している主な設計または監理業務				
		業 務 名	構造・規模	完成予定年月日	立場	
			m <sup>2</sup>	年 月		
			m <sup>2</sup>	年 月		
	m <sup>2</sup>	年 月				
分担 氏名・年齢	実務経験年数 資格（登録番号）	業 務 実 績				
		施 設 名 称	構造・規模・病床数	施設の完成年月日	立場	受賞年・賞の名称
電気設備担当主任技術者  氏名_____	経験年数_____年 資格 ・一級建築士 ( ) ・建築設備士 ( ) ・技術士 ( ) ・設備設計一級建築士 ( )		m <sup>2</sup> 床	年 月		
			m <sup>2</sup> 床	年 月		
			m <sup>2</sup> 床	年 月		
			m <sup>2</sup> 床	年 月		
		現に従事している主な設計または監理業務				
		業 務 名	構造・規模	完成予定年月日	立場	
			m <sup>2</sup>	年 月		
			m <sup>2</sup>	年 月		
	m <sup>2</sup>	年 月				

（備 考）1）業務実績は、病院の新築の設計業務の受託実績を記入してください。

2）立場とは、その業務における役割分担を言い、総括責任者（総括）、〇〇担当主任技術者（〇〇主任）、〇〇担当技術者（〇〇担当）の別を記入してください。

3）受賞実績の欄には、公共団体、建築学会、建築設計団体等の行う建築コンクール等の実績を記入してください。

4）主任技術者が設計共同企業体の場合は、氏名欄に所属事務所名も併せて記入してください。

5）構造は、構造種別・地上階数/地下階数を記述してください。（列：RC・5/1）

様式6 総括責任者及び主任技術者の実績（その3）

分担 氏名・年齢	実務経験年数 資格（登録番号）	業 務 実 績				
		施設名称	構造・規模・病床数	施設の完成年月日	立場	受賞年・賞の名称
機械設備担当主任技術者  氏名_____  年齢_____歳	経験年数_____年 資格 ・一級建築士 ( ) ・建築設備士 ( ) ・技術士 ( ) ・設備設計一級建築士 ( )		m <sup>2</sup> 床	年 月		
			m <sup>2</sup> 床	年 月		
			m <sup>2</sup> 床	年 月		
			m <sup>2</sup> 床	年 月		
		現に従事している主な設計または監理業務				
		業 務 名	構造・規模	完成予定年月日	立場	
			m <sup>2</sup>	年 月		
			m <sup>2</sup>	年 月		
			m <sup>2</sup>	年 月		
			m <sup>2</sup>	年 月		
分担 氏名・年齢	実務経験年数 資格（登録番号）	業 務 実 績				
		施 設 名 称	構造・規模・病床数	施設の完成年月日	立場	受賞年・賞の名称
土木工事担当主任技術者  氏名_____  年齢_____歳	経験年数_____年 資格 ・技術士 ( ) ・その他 ( )		m <sup>2</sup> 床	年 月		
			m <sup>2</sup> 床	年 月		
			m <sup>2</sup> 床	年 月		
			m <sup>2</sup> 床	年 月		
		現に従事している主な設計または監理業務				
		業務名	構造・規模	完成予定年月日	立場	
			m <sup>2</sup>	年 月		
			m <sup>2</sup>	年 月		
			m <sup>2</sup>	年 月		
			m <sup>2</sup>	年 月		

（備 考） 1）業務実績は、病院の新築の設計業務の受託実績を記入してください。

2）立場とは、その業務における役割分担を言い、総括責任者（総括）、〇〇担当主任技術者（〇〇主任）、〇〇担当技術者（〇〇担当）の別を記入してください。

3）受賞実績の欄には、公共団体、建築学会、建築設計団体等の行う建築コンクール等の実績を記入してください。

4）主任技術者が設計共同企業体の場合は、氏名欄に所属事務所名も併せて記入してください。

5）構造は、構造種別・地上階数／地下階数を記述してください。（列：RC・5/1）

平成 年 月 日

## 質問書

大田市立病院 設置者  
大田市長 竹腰 創一 様

(提出者) 住所  
名称  
代表者氏名

新大田市立病院建設事業設計プロポーザルについて、次の項目を質問します。

表題	内容

平成 年 月 日

大田市立病院 設置者  
大田市長 竹腰 創一 様

(提出者) 住所  
名称  
代表者氏名 ④  
(共同企業体の場合は構成員連名、押印)

## 技術提案書

新大田市立病院建設事業設計プロポーザルについて、技術提案書を提出します。

### 記

- 1) 業務の実施方針等 (様式 9)
- 2) テーマに対する技術提案 (様式 10)
- 3) その他資料  
(鳥瞰イメージ図、アイレベルイメージ図、概略工程表、委託業務の参考見積書)

様式 9

業務の実施方針等

様式 10

テーマに対する技術提案
<ul style="list-style-type: none"><li data-bbox="183 257 1066 293">(1) 患者が利用しやすく、スタッフが働きやすい施設の考え方の提案</li><li data-bbox="183 353 1177 389">(2) 質を確保しながら、建設コスト、ランニングコストを低減するための提案</li><li data-bbox="183 450 839 486">(3) 病院敷地内での施設配置（ゾーニング）の提案</li><li data-bbox="183 546 1246 582">(4) 新病院建設に係る現病院の診療への影響を最小限に抑える作業の進め方の提案</li><li data-bbox="183 642 826 678">(5) 病院側の意向を設計に反映させる手法の提案</li><li data-bbox="183 739 671 775">(6-1) 耐震性の確保に向けた提案</li><li data-bbox="183 835 922 871">(6-2) 環境にやさしいエネルギーの活用に向けた提案</li><li data-bbox="183 931 810 967">(6-3) 石州瓦及び地元産材利用に向けた提案</li></ul>
(1) から (6-3) までを、まとめてA3横版3枚以内に文章で片面により簡潔に記載すること。